



リリース・ノート

Adaptive Server[®] Enterprise Cluster Edition 15.7

Linux

ドキュメント ID：DC00988-01-1570-01

改訂：2012年2月

Copyright © 2012 by Sybase, Inc. All rights reserved.

このマニュアルは Sybase ソフトウェアの付属マニュアルであり、新しいマニュアルまたはテクニカル・ノートで特に示されないかぎり、後続のリリースにも付属します。このマニュアルの内容は予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されているソフトウェアはライセンス契約に基づいて提供されるものであり、無断で使用することはできません。

アップグレードは、ソフトウェア・リリースの所定の日時に定期的に提供されます。このマニュアルの内容を弊社の書面による事前許可を得ずに、電子的、機械的、手作業、光学的、またはその他のいかなる手段によっても、複製、転載、翻訳することを禁じます。

Sybase の商標は、Sybase の商標リスト (<http://www.sybase.com/detail?id=1011207>) で確認できます。Sybase およびこのリストに掲載されている商標は、米国法人 Sybase, Inc. の商標です。® は、米国における登録商標であることを示します。

このマニュアルに記載されている SAP、その他の SAP 製品、サービス、および関連するロゴは、ドイツおよびその他の国における SAP AG の商標または登録商標です。

Java および Java 関連のすべての商標は、米国またはその他の国での Oracle およびその関連会社の商標または登録商標です。

Unicode と Unicode のロゴは、Unicode, Inc. の登録商標です。

IBM および Tivoli は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

このマニュアルに記載されている上記以外の社名および製品名は、当該各社の商標または登録商標の場合があります。

Use, duplication, or disclosure by the government is subject to the restrictions set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of DFARS 52.227-7013 for the DOD and as set forth in FAR 52.227-19(a)-(d) for civilian agencies.

Sybase, Inc., One Sybase Drive, Dublin, CA 94568.

目次

製品の概要	1
Adaptive Server の相互運用性	1
製品の互換性	6
Replication Server とのパスワードの互換性	6
ロー内 LOB カラムの複写	6
既存のアプリケーションに影響する可能性のある変更	7
Sybase Central に対する変更	7
Backup Server と directio	7
Backup Server および IBM Tivoli Storage Manager	8
Open Client/Server	8
圧縮 LOB カラムの複写	8
変更された機能	9
db2 サーバ・クラスのサポート	9
クラスタ環境での kill コマンドに対する変更	9
サポートされていない機能とユーティリティ	9
インストールとアップグレード	11
特別なインストール手順	11
設定で特に留意する点	11
number of pre-allocated extent に対する変更	12
特別なアップグレードとダウングレードの指示	12
Job Scheduler のアップグレード	12
Adaptive Server 12.5.1 から 15.7 へのマイグレーション	12
旧バージョンへのデータベース・ダンプのロード	13
Adaptive Server Cluster Edition のインストールに関する既知の問題	13

Adaptive Server Cluster Edition のプラグインの既知の問題	17
Adaptive Server Cluster Edition の既知の問題	19
マニュアルの変更点	25
追加の説明や情報の入手	27
サポート・センタ	27
Sybase EBF と Maintenance レポートのダウンロード	27
Sybase 製品およびコンポーネントの動作確認	28
MySybase プロファイルの作成	28
アクセシビリティ機能	28

製品の概要

This release bulletin provides late-breaking information about Adaptive Server® Enterprise Cluster Edition version 15.7. A more recent version may be available on the Web.

Adaptive Server Enterprise server and client components are distributed on separate CDs or DVDs.

オペレーティング・システム稼働条件については Cluster Edition のインストール・ガイドを、サポートされる追加のオペレーティング・システムについては、<http://certification.sybase.com> を参照してください。

インストール・キット

The installation kit includes:

- Server media (CD or DVD)
- PC-Client media
- Getting Started media with the following documentation, specific to your platform:
 - インストール・ガイド
 - リリース・ノート (このマニュアル)

Adaptive Server の相互運用性

異なるプラットフォーム、バージョン、およびクライアント製品における他の Sybase® 製品と Adaptive Server の相互運用性について説明します。

ビッグ・エンディアン・プラットフォームとリトル・エンディアン・プラットフォーム間の相互運用性が検証されています。Windows、Linux x86-32、Linux x86-64、Sun Solaris x86-32、および Sun Solaris x86-64 は、リトル・エンディアンのプラットフォームです。IBM AIX、Linux on Power、Sun Solaris SPARC、および Itanium 版 HP-UX は、ビッグ・エンディアンのプラットフォームです。

注意： Adaptive Server Cluster Edition の新しい機能を使用するためには、使用しているクライアントでその機能がサポートされていることを確認してください。使用しているクライアントでサポートされる機能については、クライアント固有のマニュアルを参照してください。Cluster Edition の特定の機能を使用するためには、クライアントのアップグレードが必要になることがあります。

表 1 : Adaptive Server でサポートされているクライアント・プラットフォーム

クライアント名	バージョン	サポートされるプラットフォーム
Open Client™/Open Server™	15.7	<ul style="list-style-type: none"> • AIX 32 ビット • AIX 64 ビット版 • HP-UX IA 32 ビット版 • HP-UX IA 64 ビット版 • Linux x86 32 ビット版 • Linux x64 64 ビット版 • Linux Pseries 32 ビット版 • Linux Pseries 64 ビット版 • Solaris 32 ビット版 • Solaris 64 ビット版 • Solaris x86 32 ビット版 • Solaris x86 64 ビット版 • Windows x86 32 ビット版 • Windows x86 64 ビット版

クライアント名	バージョン	サポートされるプラットフォーム
	15.5	<ul style="list-style-type: none">• AIX 32 ビット• AIX 64 ビット版• HP-UX 32 ビット版• HP-UX 64 ビット版• HP-UX IA 32 ビット版• HP-UX IA 64 ビット版• Linux x86 32 ビット版• Linux x64 64 ビット版• Linux Pseries 32 ビット版• Linux Pseries 64 ビット版• Solaris 32 ビット版• Solaris 64 ビット版• Solaris x86 32 ビット版• Solaris x86 64 ビット版• Mac OS X Intel 32 ビット版• Windows x86 32 ビット版• Windows x86 64 ビット版
Adaptive Server Enterprise Python 用拡張モジュール	15.7	<ul style="list-style-type: none">• AIX 64 ビット版• HP-UX IA 64 ビット版• Linux x64 64 ビット版• Linux Pseries 64 ビット版• Solaris 64 ビット版• Solaris x86 64 ビット版• Windows x86 64 ビット版

製品の概要

クライアント名	バージョン	サポートされるプラットフォーム
Adaptive Server Enterprise PHP 用拡張モジュール	15.7	<ul style="list-style-type: none"> • AIX 64 ビット版 • HP-UX IA 64 ビット版 • Linux x64 64 ビット版 • Linux Pseries 64 ビット版 • Solaris 64 ビット版 • Solaris x86 64 ビット版 • Windows x86 64 ビット版
Adaptive Server Enterprise PERL 用データベース・ドライバ	15.7	<ul style="list-style-type: none"> • AIX 32 ビット • HP-UX IA 32 ビット版 • Linux x64 64 ビット版 • Linux Pseries 32 ビット版 • Solaris 32 ビット版 • Solaris x86 32 ビット版 • Windows x86 64 ビット版
jConnect™ for JDBC™	6.0.x、 7.0.x	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのプラットフォーム
Sybase で提供される ODBC	15.7	<ul style="list-style-type: none"> • Linux x86 32 ビット版 • Linux x64 32 ビット版 • Linux x64 64 ビット版 • AIX 64 ビット版 • HP-UX IA 64 ビット版 • Linux Pseries 64 ビット版 • Solaris 64 ビット版 • Solaris x86 64 ビット版 • Windows x86 32 ビット版 • Windows x64 32 ビット版 • Windows x64 64 ビット版

クライアント名	バージョン	サポートされるプラットフォーム
	15.5.x	<ul style="list-style-type: none">• Linux x86 32 ビット版• Linux x64 32 ビット版• Linux x64 64 ビット版• Mac OS X Intel 32 ビット版• Windows x86 32 ビット版• Windows x64 32 ビット版• Windows x64 64 ビット版
Sybase で提供される OLE DB	15.7、 15.5.x	<ul style="list-style-type: none">• Windows x86 32 ビット版• Windows x64 32 ビット版• Windows x64 64 ビット版
ADO.NET	2.x、4.x	<ul style="list-style-type: none">• Windows x86 32 ビット版• Windows x64 32 ビット版• Windows x64 64 ビット版
Replication Server [®]	15.5, 15.6	<ul style="list-style-type: none">• IBM AIX POWER 64 ビット版• HP-UX IA 64 ビット版• Linux x86 32 ビット版• Linux x86-64 64 ビット版• Linux on POWER 64 ビット版• Sun Solaris SPARC 64 ビット版• Sun Solaris x86-64 64 ビット版• Microsoft Windows x86 32 ビット版• Microsoft Windows x86-64 64 ビット版

クライアント名	バージョン	サポートされるプラットフォーム
	15.2	<ul style="list-style-type: none">• IBM AIX POWER 32 ビット版• IBM AIX POWER 64 ビット版• HP-UX IA 64 ビット版• Linux x86 32 ビット版• Linux x86 64 ビット版• Linux on POWER 64 ビット版• Sun Solaris SPARC 32 ビット版• Sun Solaris SPARC 64 ビット版• Microsoft Windows x86 32 ビット版• Microsoft Windows x86 64 ビット版

注意： Adaptive Server は、 Sybase Central™ 6.0 と Sybase Control Center 3.2.5 でサポートされています。

製品の互換性

Adaptive Server の互換性について説明します。

Replication Server とのパスワードの互換性

Adaptive Server の異なるバージョン間で、ロールおよびログインの複写に関する互換性の問題があります。

allow password downgrade が 1 に設定されていると、パスワードのダウングレード期間中にのみ、Adaptive Server バージョン 15.0.2 以降から以前のサーバ・バージョンに、ログインを複写できます。

パスワードを使用しても、ロールは Adaptive Server 15.7 以降から以前のサーバ・バージョンに複写できません。

ロー内 LOB カラムの複写

Adaptive Server 15.7 でロー内 LOB カラムを複写するセマンティックおよびインタフェースは、15.7 より前のバージョンの LOB カラムのものと同じです。

複写のためのロー内 LOB カラムをマークするには、次を使用します。

```
sp_setrepcol table_name [, {column_name | null} [,
{do_not_replicate | always_replicate |
replicate_if_changed}]] [, use_index]
```

また、プライマリ・データベースでロー内 LOB カラムを複製するとき、複製されたデータベースおよび複製されたテーブルの設定によっては、ロー内またはロー外でデータを格納できます。たとえば、プライマリでより複製でのほうがページ・サイズが小さい場合、複製テーブルのロー・サイズはより小さくなり、複製 LOB はロー内に合いません。したがって、プライマリのロー内の値は、複製でロー外の LOB 値として複製される場合があります。

既存のアプリケーションに影響する可能性のある変更

既存のアプリケーションに影響する可能性のある Adaptive Server 15.7 の変更について説明します。

Sybase Central に対する変更

SAMReport ライセンス・レポートング・ツールは現在、Sybase Central ASE plug-in に含まれていません。

15.7 ESD 1 以前では、SAMReport は、ASE plug-in のユーティリティ・フォルダのライセンス・ツールとして含まれていました。デフォルトでは、SAMreport は含まれませんが、SAMreport などのツールを Sybase Central ユーティリティ・フォルダに追加することができます。

ツールを追加するには、以下を実行します。

[ユーティリティ] タブで、[新しいユーティリティの追加] を選択し、ウィザード・プロンプトに従って、名前、説明、コマンド、引数、および型を入力します。

Backup Server と directio

バージョン 15.5 以降では、**disk init**、**disk reinit**、または **sp_deviceattr** を使用してデバイスの **directio** パラメータを有効にした場合は、Adaptive Server と Backup Server の両方でオペレーティング・システムのバッファ・キャッシュを回避できます。Adaptive Server はデバイス・オプションを Backup Server に渡します。これにより Backup Server は適切な **directio** オプションを使用してデータベース・デバイスにアクセスできます。

Backup Server および IBM Tivoli Storage Manager

IBM® Tivoli® Storage Manager に対するダンプおよびロードにはローカルのバックアップ・サーバを使用します。リモート・バックアップ・サーバは使用できません。

IBM Tivoli Storage Manager は、ローカル・バックアップ・サーバではないホスト・マシンで設定できます。

Open Client/Server

クライアントとして Adaptive Server に依存する機能に対しては、最新の Adaptive Server ESD を対応する Open Server および Software Developers Kit (SDK) にダウンロードおよびインストールします。

Open Client と Open Server に影響する変更の詳細については、Sybase Web サイトでこれらの製品の最新の『リリース・ノート』を参照してください。

新しい機能に関する情報については、『新機能ガイド Open Server 15.7 および SDK 15.7 Windows、Linux、UNIX 版』を参照してください。

Adaptive Server 拡張モジュールおよびドライバ

PHP と Python 用拡張モジュール、および Perl 用データベース・ドライバを使用すると、開発者は Adaptive Server のデータベースに対してクエリを実行できます。

PHP と Python 用拡張モジュールおよび Perl 用データベース・ドライバの詳細については、以下を参照してください。

- 『Python 用 Adaptive Server Enterprise 拡張モジュール・プログラマーズ・ガイド』
- 『PHP 用 Adaptive Server Enterprise 拡張モジュール・プログラマーズ・ガイド』
- 『Perl 用 Adaptive Server Enterprise データベース・ドライバ・プログラマーズ・ガイド』

インストールの手順については、『Software Developer's Kit/Open Server インストール・ガイド』を参照してください。

圧縮 LOB カラムの複写

Adaptive Server 15.7 ESD #1 以降および Replication Server 15.7.1 以降でのみ、圧縮 LOB カラムの複写がサポートされています。Adaptive Server からのルート内のすべての中間 Replication Server もバージョン 15.7.1 以降でなければなりません。

変更された機能

Adaptive Server バージョン 15.7 での最新の機能の変更点について説明します。

詳細については、『Cluster ユーザーズ・ガイド』を参照してください。

db2 サーバ・クラスのサポート

注意 Adaptive Server はサーバ・クラス db2 をサポートしていません。

db2 を使用するには、db2 サーバ・クラスを **direct_connect** クラスにマイグレートしてください。

クラスタ環境での kill コマンドに対する変更

Adaptive Server Cluster Edition バージョン 15.5 ESD #2 以降では、特権的な Kerberos ユーザは **kill** コマンドを使用して、データベース・タスクの "spid" がリモート・サーバで実行されるのを防ぎます。

サポートされていない機能とユーティリティ

Cluster Edition でサポートされていない機能について説明します。

以下のユーティリティ・プログラムはサポートされていないか、最小限のサポートしか提供されていません。

- **sqlupgrade**
- **sqlloc**
- **srvbuild**

Adaptive Server のこれらの機能はサポートされていません。

- Adaptive Server 15.5 で導入されたインメモリ・データベース。
- Adaptive Server ディスク・ミラーリング
- 高可用性。Cluster Edition では、高可用性機能が Adaptive Server に統合されます。
- サポートされるインスタンスの最大数。Cluster Edition アーキテクチャでは、1 つのクラスタで最高 32 個のインスタンスを提供します。ただし、現在 Cluster Edition 15.5 以降は 4 インスタンスのみでサポートされていて動作が確認されています。

これらの複写機能はサポートされていません。

製品の概要

- Multi-Path Replication™
- メタデータの削減、もしくはメタデータの省略
- 複写定義の排除
- ロー内 LOB 複写
- 圧縮データの複写
- ASE Replicator を使用した複写

注意： ASE-15_0/bin ディレクトリには、**iofenceutil** と呼ばれるユーティリティがあります。これは、**qrmutil --fence_capable** の機能を複写しますが、クォーラム・デバイスは必要なく、終了コードを返します。これは **sybcluster** によって使用される内部ユーティリティで、通常使用のために設計されているわけではありません。

インストールとアップグレード

インストールとアップグレードに関する『インストール・ガイド』への追加および訂正、または重要事項の最新情報を示します。

Adaptive Server Enterprise Cluster Edition は、専用のディレクトリにインストールすることを強くおすすめします。専用のディレクトリにインストールできない場合は、Cluster Edition を最後にインストールしてください。

警告！ Sybase 製品の古いバージョンを、それより新しい Sybase 製品が含まれている \$SYBASE ディレクトリにインストールすることはおすすめしません。たとえば、Cluster Edition の上に Replication Server[®] 15.0 をインストールすると、インストールの実行中に選択したオプションによっては、Cluster Edition または Replication Server のいずれかが動作しなくなる可能性があります。

特別なインストール手順

このバージョンの Adaptive Server の特別なインストールの指示について説明します。

他の Sybase ソフトウェアと ECDA (Enterprise Connect Data Access) または MainframeConnect DirectConnect for z/OS のインストール

ECDA DirectConnect オプションまたは MainframeConnect[™] DirectConnect[™] for z/OS (DirectConnect Manager を含む) は、専用のディレクトリにインストールすることを強くおすすめします。

Adaptive Server Enterprise Cluster Edition と Sybase IQ 15.1 のインストール

Cluster Edition が含まれているディレクトリに Sybase IQ[™] 15.1 をインストールすることはおすすめしません。

設定で特に留意する点

このバージョンの Adaptive Server の特別な設定を示します。

number of pre-allocated extent に対する変更

Adaptive Server バージョン 15.5 以降では、設定パラメータ **number of pre-allocated extent** に使用できる最大値は 31 から 32 に増えました。

number of pre-allocated extent パラメータに値 32 を使用することは、設定にとって特別な意味があり、Adaptive Server が内部的に実行する領域の割り付けに影響を及ぼします。番号を 32 に設定すると、Adaptive Server はエクステントの割り付け単位全体を **bcp in** や **select into** などのユーティリティ操作のために予約しようとしています。これらの操作では、領域予約の大規模な割り付けスキームが使用されるからです。

number of pre-allocated extent の最大数を使用すると、特に並列実行する場合に、これらのユーティリティのパフォーマンスが大幅に向上します。値 32 を使用すると、ユーティリティを実行する各エンジンが独自の割り付け単位上で他のエンジンから干渉されることなく独立して作業できる可能性が大幅に高くなります。

特別なアップグレードとダウングレードの指示

Adaptive Server のさまざまなバージョンのアップグレード、ダウングレード、移行のための最新の情報を説明をします。

Job Scheduler のアップグレード

Adaptive Server バージョン 12.5.x から 15.5 以降の Job Scheduler にアップグレードする際は、**sybmgmtdb** のサイズを 50MB から 90MB に増やします。

テンプレートから作成されたジョブをアップグレードします。

Adaptive Server 12.5.1 から 15.7 へのマイグレーション

sybmigrate を使用して Adaptive Server 12.5.1 から 15.5 以降のバージョンへマイグレートすると、エラー・メッセージが生成される可能性があります。

Adaptive Server バージョン 12.5.1 から 15.5 以降のバージョンに、**sybmigrate** ユーティリティを使用してマイグレートする場合は、次のようなエラー・メッセージが表示される場合があります。

```
"local server name not set for server 'source' on host 'host1'(IP address + port number='xx.xx.xx.xxx:xxxx')"
```

Adaptive Server バージョン 12.5.1 はサポートされていません。12.5.1 から 12.5.4 にアップグレードした後で 12.5.4 から 15.5 以降のバージョンにアップグレードすることをおすすめします。

12.5.1 のサーバを 12.5.4 以降のサーバが認識できる状態にするには、以下を使用します。

```
1>sp_addserver 'servername', local 2>go
```

Adaptive Server を再起動します。これで 15.5 サーバが 12.5.1 サーバを認識できません。

旧バージョンへのデータベース・ダンプのロード

このバージョンの Adaptive Server にデータベースをダンプし、Adaptive Server の以前の (15.x) バージョンを実行しているサーバーのデータベースにこのダンプをロードすることはできません。

Adaptive Server Cluster Edition のインストールに関する既知の問題

インストーラに関してすでにわかっている問題と対処方法について説明します。既知の問題は、変更要求 (CR) 番号が降順に挙げられています。

CR #	説明
688101	<p>Adaptive Server 15.7 をアンインストールした後で、Sybase IQ 15.4 の Sybase Central を起動することはできません。</p> <p>Adaptive Server Enterprise 15.7 が Sybase IQ 15.4 と同じディレクトリにすでにインストールされている場合、Adaptive Server をアンインストールすると、IQ の Sybase Central を起動できません。Adaptive Server のアンインストーラによって共有ファイルが削除されたために、この問題が発生します。</p> <p>対処方法:</p> <ul style="list-style-type: none"> Adaptive Server をアンインストールする前に共有ディレクトリをバックアップして、Adaptive Server のアンインストール後に欠落したファイルをリストアするか、 カスタム・モードを選択して Sybase IQ を再度インストールし、Sybase Central のみをインストールします。
683486	<p>Adaptive Server 15.7 の上に RMP 15.2 および RMP 15.7 をインストールすると、Sybase Central の DBISQL は使用できなくなります。</p> <p>対処方法: Replication Server および RMP をインストールした後で、Adaptive Server 15.7 カスタム・インストールを使用してインストールするこれらのコンポーネントのみを選択し、DBISQL および Sybase Central (プラグインを含む) を再インストールします。これによって、Sybase Central プラグインは新しいバージョンに置き換えられます。</p>

CR #	説明
678912	<p>Adaptive Server 15.7 の上に RMP をインストールすると、Sybase Central の DBISQL は使用できなくなります。</p> <p>対処方法: Replication Server および RMP をインストールした後で、Adaptive Server 15.7 カスタム・インストールを使用してインストールするこれらのコンポーネントのみを選択し、DBISQL および Sybase Central (プラグインを含む) を再インストールします。これによって、Sybase Central プラグインは新しいバージョンに置き換えられます。</p>
671351	<p>Adaptive Server 15.7 を Replication Agent™ 15.2 の上にインストールすると、SySAM エラーになります。</p> <p>対処方法: Adaptive Server 15.7 をインストールする前に、書き込みパーミッションが含まれるよう SySAM ファイル パーミッションを修正します。</p>
611780	<p>Adaptive Server 15.5 Cluster Edition を ECDA 15.0 ESD #2 以前のバージョンと同じディレクトリにインストールすると、エラーが発生する。</p> <p>Unified Agent はこのインストール後に起動しません。また Sybase Central からクラスタを作成できません。</p> <p>対処方法: Adaptive Server Enterprise 15.5 Cluster Edition は、専用のディレクトリにインストールすることを強くおすすめします。Adaptive Server 15.5 Cluster Edition を ECDA 15.0 と同じディレクトリにインストールする必要がある場合、</p> <ul style="list-style-type: none"> • ECDA 15.0 ESD #3 をインストールしている場合は、ECDA インストールの上に Adaptive Server 15.5 Cluster Edition をインストールできます。 • バージョン 15.0 ESD #2 以前の ECDA をインストールしている場合は、次の操作を実行する必要があります。 <ul style="list-style-type: none"> • ECDA の古いバージョンをアンインストールします。 • \$SYBASE/ua ディレクトリを削除します。 • Adaptive Server 15.5 Cluster Edition をインストールします。
592553	<p>Linux で、中国語、日本語、韓国語でインストーラを実行するには、これらの RPM パッケージの 1 つをインストールする必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • RedHat 5.x: <ul style="list-style-type: none"> • 中国語フォント • 日本語フォント • 韓国語フォント • SuSE 10.x: <ul style="list-style-type: none"> • ttf-founder-traditional (繁体字中国語) • sazanami-fonts (日本語) • baekmuk-ttf (韓国語)

CR #	説明
590282	<p>[Tab] キーおよび矢印キーを使用して、インストールまたはアンインストール・プログラムの [製品機能を選択します] ウィンドウを操作できない。</p> <p>対処方法： マウスを使用して、[インストール] または [アンインストール] ウィンドウをクリックします。そうすることで、ウィンドウにフォーカスが移され、キーボードを使用して操作できるようになります。</p>
589483	<p>df コマンドが応答しなくなると、インストーラも [プリインストールの要約] ウィンドウ枠が表示される前に応答しなくなります。</p> <p>対処方法：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 問題がある可能性のあるネットワーク・ファイル・システム (NFS: Network File System) マウントを特定します。 <pre>strace -e statfs, statfs64 df</pre> 2. umount コマンドを使用して、特定した NFS マウントをマウント解除します。 <pre>umount -l <path></pre> 3. 応答しなくなった NFS マウントがなくなるまで上記の手順を繰り返します。 <p>umount コマンドには root パーミッションが必要です。umount コマンドで NFS をマウント解除する場合は、マシンの再起動が必要になることがあります。</p>
588793	<p>InstallShield Multiplatform でインストールされた古いディレクトリに Install Anywhere を使用する Adaptive Server 15.5 以降のバージョンをインストールすると、非互換性の問題が発生する可能性があります。</p> <p>これらの問題は、異なるインストーラ・テクノロジーでインストールされた製品を使用しているときに発生します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 他のインストーラでインストールされた製品の上に Install Anywhere または InstallShield Multiplatform を使用して製品をインストールすると、両方のインストーラに含まれる同じファイルが後のインストールによって暗黙的に上書きされます。 • Install Anywhere または InstallShield Multiplatform のいずれかのアンインストーラを実行している場合は、両方のインストーラによってインストールされた同じファイルが、メッセージが表示されることなく削除されます。 <p>対処方法： Install Anywhere を使用する製品および InstallShield Multiplatform を使用する製品を同じディレクトリにインストールしないでください。</p>
586169	<p>インストーラが正常に機能するためには、gzip をマシンにインストールする必要があります。</p> <p>インストーラで次の内容がレポートされます。</p> <pre>gzip: Not Found</pre> <p>対処方法： gzip をマシンにインストールし、それがパスに含まれていることを確認します。</p>

インストールとアップグレード

CR #	説明
583979	サイレント・モードでインストールするときに、インストーラが、応答ファイルで指定されている機能名を検証しません。 対処方法： 指定されている機能名が正しいことを確認します。

Adaptive Server Cluster Edition のプラグインの既知の問題

Interactive SQL と Adaptive Server Enterprise プラグインに関してすでにわかっている問題と対処方法について説明します。既知の問題は、変更要求 (CR) 番号が降順に挙げられています。

CR#	説明と対処方法
694020	<p>ASE plug-in を使用してクラスタに追加されたインスタンスは、起動できない可能性があります。</p> <p>対処方法: クラスタを停止し、再起動します。</p>
693548	<p>新しいクラスタをエージェント対応にはできません。</p> <p>ASE plug-in を使用してクラスタを作成すると、クラスタはエージェント対応として表示されません。</p> <p>対処方法: ASE plug-in を停止し、再起動します。</p>
487524	<p>create cluster コマンド実行中の sybcluster からのロー・デバイスのパーミッション・エラー</p> <p>これは、デバイスの名前が正しく入力されていない場合、または存在しない場合に発生します。</p> <p>対処方法: 既存デバイスの名前を再度入力します。</p>
478875	<p>Adaptive Server プラグインでは、接続されたインスタンスを削除できない。インスタンスが停止するとすぐに接続が失われる。</p> <p>対処方法: 削除するインスタンスを停止する前に、クラスタにある別のインスタンスに接続します。</p>

Adaptive Server Cluster Edition の既知の問題

Adaptive Server Cluster Edition に関する既知の問題とその対処方法について説明します。既知の問題は、変更要求 (CR) 番号が降順に挙げられています。

システム問題のレポートである SPR (System Problem Report) と、修正済みの問題のレポートである CPR (Closed Problem Report) は、Adaptive Server Enterprise に含まれなくなりました。解決済みの問題については Web サイトで検索できます。

[Support] > [Services] > [Solved Cases] をクリックしてください。

CR #	説明
698388	<p>COTS JVM をブートストラップすると、SIGSEGV になる可能性があります。</p> <p>Adaptive Server が COTS JVM のブートストラップを試行すると、モジュール <code>jvnmh_utl_printn</code> を含むエラー・ログでシグナル 11、およびスタックトレースが発生する場合があります。Java オペレーションが実行不可になる可能性があります。</p> <p>対処方法: この問題を回避するには、以下のルールを追加し、<code>file:</code> の後に始まる最初の文字列を絶対パスに変更することによって、グローバル <code>java.policy</code> ファイルを変更します。</p> <pre>grant codeBase "file:/absolute_path_to/sybase/ASE-15_0/lib/pca/sybasert.jar" { permission java.lang.reflect.ReflectPermission "suppressAccessChecks"; };</pre> <p>たとえば、次のように入力します。</p> <pre>grant codeBase "file:/opt/sybase/ASE-15_0/lib/pca/sybasert.jar" { permission java.lang.reflect.ReflectPermission "suppressAccessChecks"; };</pre> <p>各プラットフォームでは、<code>java.policy</code> ファイルの場所は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IBM - <code>SYBASE/shared/JRE-6_0_SR9FP1_64BIT/lib/security/java.policy</code> • HP - <code>SYBASE/shared/JRE-6_0_10/lib/security/java.policy</code> • Linux - <code>SYBASE/shared/JRE-6_0_24_64BIT/lib/security/java.policy</code> • Solaris - <code>SYBASE/shared/JRE-6_0_24/lib/security/java.policy</code>

CR #	説明
697384	<p>alter thread pool コマンドを使用して、エンジン数 (スレッド数) を減らすと、セグメンテーション違反が発生します。</p> <p>特定の状況下では、 alter thread pool コマンド経由でエンジン数を減らすと、Adapter Server で upwakeup() 関数関連のセグメンテーション違反およびスタックトレースが発生する可能性があります。</p> <p>対処方法: セグメンテーション違反を回避するため、エンジン数 (スレッド数) を減らさないでください。</p>
696071	<p>一部の Cluster Edition 設定では、データベースまたはデータベース内のテーブルの複写中、まれに Adaptive Server 624 および 69x エラーが発生する場合があります。</p> <p>アクティブ/アクティブまたはアクティブ/パッシブのクラスタ設定では、RepAgent がクラスタの単一ノードでのみ実行されるように設定することができます。まれに、最新のイメージが別のノードにあるにもかかわらず、RepAgent がディスクにあるデータベース・ログ・ページの古いイメージを読み込むと、エラーが発生する場合があります。</p> <p>対処方法: Sybase では次の作業をおすすめします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティブ/パッシブ設定 - データとログ・ページが RepAgent と同じノード上にあるように RepAgent をアクティブ・ノードで実行します。 • アクティブ/アクティブ設定 - ログ・ページの破損と 69x エラーを防ぐために、16872 トレース・フラグで Adaptive Server を起動します。ただし、このフラグを使用すると、サーバのパフォーマンスが低下します。
695625	<p>次のメッセージが、Adaptive Server Enterprise に接続している Open Client アプリケーションによってレポートされる場合があります。</p> <pre>ct_send(): network packet layer: internal Client Library error: State error: trying to write when connection is expecting a read.</pre> <p>このメッセージは、Kerberos メッセージの機密保持サービスがオンの場合、レポートされることがあります。</p> <p>対処方法: 機密保持サービスをオフにして、サーバに再度接続します。</p>
695135	<p>次のメッセージが、スレッド・プールに関するエラー・ログにレポートされます。"kernel Expected object passed to kmuxtskGetThreadpool is not of type Multiplexed Task, 0x4d858884 != 0x52544354 (TCTR)"</p> <p>対処方法: このメッセージは無視してもかまいません。</p>

CR #	説明
694912	<p>sybcluster ローカライズ・ユーティリティは、適切に機能せず、例外が発生します。</p> <p>\$SYBASE/SYBASE_ASE/locales ディレクトリにサーバ関連のロケール以外のファイルまたはディレクトリが含まれている場合、sybcluster ローカライズ・ユーティリティは適切に機能しません。関連のないファイルがロケール・ディレクトリにある場合、ローカライズ・コマンドは停止され、初期段階で例外が発生します。関連のないディレクトリがロケール・ディレクトリにある場合、charset 選択メニューは正常に表示されず、後のプロセスでローカライズが停止される可能性があります。</p> <p>対処方法: ローカライゼーションに関連のないファイルやディレクトリを \$SYBASE/SYBASE_ASE/locales ディレクトリに置かないでください。</p>
693181	<p>まれに、最新のイメージがリモート・クラスタ・ノードのメモリに置かれているにもかかわらず、RepAgent がディスクからデータベース・ログ・ページの古いイメージを読み込むと、Adaptive Server 624 または 69x エラーが発生する可能性があります。</p> <p>以下のシナリオでは、エラーが発生する可能性があります。</p> <p>アクティブ/アクティブ設定: 挿入/更新/削除操作をデータベースに送信するクラスタにノードが1つ以上あります。これにより、1つ以上のノードにデータベースのログが生成されます。</p> <p>アクティブ/パッシブ設定: 挿入/更新/削除操作をデータベースに送信するクラスタにあるノードは1つのみです。このノードは、アクティブ・ノードと見なされます。RepAgent がパッシブ・ノードで設定されている場合、パッシブ・ノードは読み込み操作のみになります。</p> <p>対処方法: アクティブ/アクティブ設定: RepAgent を設定して 624 または 69x エラーを回避するために、トレースフラグ 16872 を使用します。このトレースフラグを使用すると、アクティブ/アクティブ・シナリオでのサーバのパフォーマンスが低下します。</p> <p>アクティブ/パッシブ: RepAgent をアクティブ・ノードで設定します。</p>

CR #	説明
686604	<p>MDA テーブルの LogicalReads カラムは、ゼロとしてリストされます。</p> <p>下記にリストされた MDA テーブルの LogicalReads カラムは、statement statistics active がオフの場合、ゼロになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • monOpenObjectActivity • monOpenPartitionActivity • monProcessActivity • monProcessStatement <p>対処方法: statement statistics active をオンにして、上記の MDA テーブルの LogicalReads を使用します。</p>
684556	<p>バージョン 15.7 で導入された select for update セマンティックは、データページロック・テーブルをサポートしていません。</p> <p>select for update のサポートは、データロー・ロック・ページのみが存在します。</p> <p>対処方法: なし。</p>
680041	<p>ループバック・サーバの srvnetname カラムによって定義されたサーバ・ネットワーク名の値は、クラスタの名前であることが必要です。</p> <p>sp_opt_querystats ストアド・プロシージャが正常に実行されるために、ループバック・リモート・サーバの srvnetname カラムの値は、クラスタ・インスタンスの名前でなく、クラスタ interfaces ファイルにあるクラスタの名前であることが必要です。</p> <p>対処方法: ループバック・リモート・サーバの srvnetname カラムがクラスタの名前であることを確認してください。</p>
615204	<p>enable DTM を設定している場合は、分散リカバリ機能が無効になり、すべてのデータベースは、クラスタの異なるインスタンスではなく、クラスタ・コーディネータでのみリカバリされる。</p> <p>対処方法: なし</p>
595923	<p>transfer table には次のような 2 つの既知の問題があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ignore_dup_key プロパティを使用しているユニーク・インデックスの作成時に、既にテーブルに存在するキーを持つローをインポートすると、エラーが生じ、インポートがアボートされる。これは、bcp または通常の insert 文で重複キーが挿入される場合とは異なります。この場合には、ローが廃棄され、トランザクションが継続するためです。 • insert トリガが存在する場合は、データが transfer table...from によって挿入されたときにトリガは起動されません。 <p>対処方法: なし。</p>

CR #	説明
578921	<p>Linux SUSE Enterprise 11 システム上で、ネットワーク情報サービス (NIS) からユーザー ID およびパスワードを取得している間、Adaptive Server の設定は SEGV に失敗します。</p> <p>PCA-JVM を作成している間、Adaptive Server は、ネットワーク・セキュリティ・サービス (NSS) を使用して ID およびパスワードの情報を取得できますが、NIS は使用できません。</p> <p>対処方法: 次の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • /etc/nssswitch.conf で、取得順序を "compat" または "files NIS" のいずれかに指定します。 • Adaptive Server を起動するユーザーの ID およびパスワードをローカル・ファイル /etc/passwd および次のファイルに追加します。 /etc/shadow。これによって、ID およびパスワードの情報がローカルで入手可能なことが保証され、NIS への問い合わせは不要です。 <p>ユーザー情報をローカル・ファイルに追加できない場合、ネーム・サービス・キャッシュ・デーモン (NSCD) がサーバのホスト・マシンで実行していることを確認します。NSCD は、この情報の NIS へ要求をディスパッチする前に調べた ID およびパスワードの情報のキャッシュを保持します。</p>
558020	<p>変換テーブル構文エラーで dsedit が失敗する。</p> <p>新しいサーバ・エントリまたはポート番号を入力しようとする、dsedit ユーティリティが失敗して次のような解析エラーが表示されます。</p> <pre>Warning: translation table syntax error: Unknown keySYM name: osfActivate.Warning: ... found while parsing ':<Key>osfActivate: ManagerParentActivate()'.Warning: String to TranslationTable conversion encountered errors.Warning: translation table syntax error: Unknown keySYM name: osfBeginLine.Warning: ... found while parsing ':<Key>osfBeginLine: ManagerGadgetTraverseHome()'</pre> <p>これらのエラーは、グラフィックスを表示する X サーバ・プログラムがキャッシュされていないか、デフォルトで環境に設定されていることを示します。</p> <p>対処方法: 環境変数 XKEYSYMDB を設定します。</p> <pre>% setenv XKEYSYMDB "/usr/share/X11/XkeySYMDB"</pre>

CR #	説明
483651	<p>診断共有メモリ・ダンプの実行時に誤ったクラスタのフェールオーバーが生じることがある。</p> <p>残りのクラスタで診断共有メモリ・ダンプを実行している間にインスタンスを起動すると、起動中のインスタンスが誤ってクラスタ・テイクオーバーを実行する場合があります。これは、automatic cluster takeover が 1 に設定されているか、--cluster_takeover オプションがデータ・サーバに渡される場合にのみ発生します。i/o fencing を有効にしていない環境では、これによりデータ破損が発生する可能性があります。</p> <p>対処方法： 診断共有メモリ・ダンプの実行時にはインスタンスを起動しないでください。automatic cluster takeover を 0 に設定します。</p>
439406	<p>中国語 (簡体字) 用の Job Scheduler Self Management の設定。</p> <p>中国語 (簡体字) 向けにローカライズされた Adaptive Server 用の Job Scheduler Self Management 機能を設定すると、<i>varchar</i> データ型は日付に変更できないことを示すエラーを受け取ることがあります。この時点で、Job Scheduler の設定処理は停止します。</p> <p>対処方法： 中国語 (簡体字) 用に Self Management 機能を設定しないでください。</p>
439404	<p>中国語 (簡体字) を使用した Adaptive Server での Job Scheduler の作成。</p> <p>中国語 (簡体字) 向けにローカライズされた Adaptive Server 用の Adaptive Server プラグインを使用して Job Scheduler のスケジュールを作成しようとすると、<i>varchar</i> データ型は日付に変更できないことを示すエラーを受け取ることがあります。</p> <p>対処方法： 中国語 (簡体字) 用に Adaptive Server をローカライズしてから、Job Scheduler を設定します。</p>

マニュアルの変更点

Adaptive Server Cluster Edition バージョン 15.7 でリリースされたマニュアルの更新情報、修正内容、変更点を確認してください。

サード・パーティ・ライセンスの詳細の最近の更新については、無料ダウンロードの条項ドキュメントを確認してください。ドキュメントは、次から入手できます。http://www.sybase.com/softwarelicenses/third_party_legal

マニュアルの変更点

追加の説明や情報の入手

Sybase Getting Started CD、Sybase Product Manuals Web サイト、オンライン・ヘルプを利用すると、この製品リリースについて詳しく知ることができます。

- Getting Started CD (またはダウンロード) – PDF フォーマットのリリース・ノートとインストール・ガイド、その他のマニュアルや更新情報が収録されています。
- (<http://sybooks.sybase.com/>) にある製品マニュアルは、Sybase マニュアルのオンライン版であり、標準の Web ブラウザを使用してアクセスできます。マニュアルはオンラインで参照することも PDF としてダウンロードすることもできます。この Web サイトには、製品マニュアルの他に、EBFs/Maintenance、Technical Documents、Case Management、Solved Cases、Community Forums/ Newsgroups、その他のリソースへのリンクも用意されています。
- 製品のオンライン・ヘルプ (利用可能な場合)

PDF 形式のドキュメントを表示または印刷するには、Adobe の Web サイトから無償でダウンロードできる Adobe Acrobat Reader が必要です。

注意：製品リリース後に追加された製品またはマニュアルについての重要な情報を記載したさらに新しいリリース・ノートを製品マニュアル Web サイトから入手できることがあります。

サポート・センタ

Sybase 製品に関するサポートを得ることができます。

組織でこの製品の保守契約を購入している場合は、サポート・センタとの連絡担当者が指定されています。マニュアルだけでは解決できない問題があった場合には、担当の方を通して Sybase 製品のサポート・センタまでご連絡ください。

Sybase EBF と Maintenance レポートのダウンロード

EBF と Maintenance レポートは、Sybase Web サイトからダウンロードしてください。

1. Web ブラウザで <http://www.sybase.com/support> を指定します。
2. メニュー・バーまたはスライド式メニューの [Support (サポート)] で [EBFs/Maintenance (EBF/メンテナンス)] を選択します。

3. ユーザ名とパスワードの入力が求められたら、MySybase のユーザ名とパスワードを入力します。
4. (オプション) [Display (表示)] ドロップダウン・リストからフィルタを指定し、期間を指定して、[Go (実行)] をクリックします。
5. 製品を選択します。

鍵のアイコンは、「Authorized Support Contact」として登録されていないため、一部の EBF/Maintenance リリースをダウンロードする権限がないことを示しています。未登録ではあるが、Sybase 担当者またはサポート・センタから有効な情報を得ている場合は、[My Account (マイ・アカウント)] をクリックして、「Technical Support Contact」役割を MySybase プロファイルに追加します。

6. EBF/Maintenance レポートを表示するには [[Info]] アイコンをクリックします。ソフトウェアをダウンロードするには製品の説明をクリックします。

Sybase 製品およびコンポーネントの動作確認

動作確認レポートは、特定のプラットフォームでの Sybase 製品のパフォーマンスを検証します。

動作確認に関する最新情報は次のページにあります。

- パートナー製品の動作確認については、http://www.sybase.com/detail_list?id=9784 にアクセスします。
- プラットフォームの動作確認については、<http://certification.sybase.com/ucr/search.do> にアクセスします。

MySybase プロファイルの作成

MySybase は無料サービスです。このサービスを使用すると、Sybase Web ページの表示方法を自分専用カスタマイズできます。

1. <http://www.sybase.com/mysybase> を開きます。
2. [Register Now (今すぐ登録)] をクリックします。

アクセシビリティ機能

アクセシビリティ機能を使用すると、身体障害者を含むすべてのユーザーが電子情報に確実にアクセスできます。

Sybase 製品のマニュアルには、アクセシビリティを重視した HTML 版もあります。

オンライン・マニュアルは、スクリーン・リーダーで読み上げる、または画面を拡大表示する方法により、視覚障害を持つユーザがその内容を理解できるよう配慮されています。

Sybase の HTML マニュアルは、米国のリハビリテーション法第 508 条のアクセシビリティ規定に準拠していることがテストにより確認されています。第 508 条に準拠しているマニュアルは通常、World Wide Web Consortium (W3C) の Web サイト用ガイドラインなど、米国以外のアクセシビリティ・ガイドラインにも準拠しています。

注意：アクセシビリティ・ツールを効率的に使用するには、設定が必要な場合もあります。一部のスクリーン・リーダーは、テキストの大文字と小文字を区別して発音します。たとえば、すべて大文字のテキスト (ALL UPPERCASE TEXT など) はイニシャルで発音し、大文字と小文字の混在したテキスト (Mixed Case Text など) は単語として発音します。構文規則を発音するようにツールを設定すると便利かもしれません。詳細については、ツールのマニュアルを参照してください。

Sybase のアクセシビリティに対する取り組みについては、Sybase Accessibility サイト (<http://www.sybase.com/products/accessibility>) を参照してください。このサイトには、第 508 条と W3C 標準に関する情報へのリンクもあります。

製品マニュアルには、アクセシビリティ機能に関する追加情報も記載されていません。

追加の説明や情報の入手